

平成22年10月20日
特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構

漁船設計の発注に関する公募について

漁業改革推進集中プロジェクト運営事業の実施に際し、下記により漁船設計業務の委託先を公募します。

【 公 募 要 領 】

1. 発注業務 : 石巻地域プロジェクトにおける漁船設計
2. 発注業務の内容 : 別紙 発注仕様書のとおり
3. 公募期間 : 平成22年10月20日(水)～10月26日(火)
4. 企画提案書の提出期限等
 - (1) 提出期限:平成22年10月26日(火)午後5時必着
 - (2) 提出場所:東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビルB1F
特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構 三会堂分室
 - (3) 提出書類及び部数
 - ・企画提案書(自由形式)・・・5部
 - ・経費内訳表(自由形式)・・・5部
 - ・提出者の概要がわかる資料(過去の実績、担当者及び経歴等を含む)・・・1部
 - (4) 企画提案書の提出は、原則として郵送、宅配便、又は提出場所窓口での受け付とし、ファクシミリ又は、電子メールによる提出は受け付けません。
 - (5) 提出者の組織・業務、企画提案、経費内訳等について、必要に応じヒアリングを行います。
5. 参加条件
 - (1) 公益法人、一般企業とする。個人の参加は認めません。
 - (2) 農林水産省競争参加資格(全省庁統一参加資格)を有すること(資格書写し提出)。
 - (3) 企業の場合は、直近決算書、納税証明書、登記簿謄本(写し可)を提出すること。

7. その他

- (1) 企画提案に関する提出書類は返却しない。
- (2) 企画提案に関する費用は提案者が負担する。
- (4) 審査内容・基準は、公表しない。

8. 採用決定

平成22年11月5日（金）までに採用又は不採用を書面で通知します。

9. 問合せ先 : 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビルB 1 (土・日・祝日は除く)
水産業・漁村活性化推進機構 三会堂分室
TEL03-3568-1590 / FAX03-3568-1591
E-Mail : yo-mori@fpo.jf-net.ne.jp

以上

石巻地域プロジェクト漁船建造設計業務に係る発注仕様書

1、目的

北部太平洋海区宮城県沖周辺海域操業を行う沖合底びき網漁業において、将来における安全性・居住性・経済性を備えた改革型漁船の適正規模と具体的検討を推進するため。

2、業務発注の内容

別添の「石巻地域プロジェクト漁船建造計画書」を満たす設計を行い、次に掲げる設計書を作成し指定部数を提出する。

(1) 基本設計の成果物

- ・ 建造要目書
- ・ 一般配置図

3、業務委託に関する条件

(1) 履行期間

契約締結日から平成22年11月30日とする。

(2) 業務スケジュール

- ・ 平成22年11月下旬 基本設計に関する水漁機構への報告
- ・ 平成22年11月下旬 基本設計の成果物の納品

(3) その他

- ①業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。
- ②成果物は全て発注者の所有とし、受託者は発注者の承諾を得ないで当該成果物を公表若しくは貸与若しくは使用してはならない。
- ③この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、別途発注者及び受託者が協議して決定するものとする。

石巻地域プロジェクト漁船建造計画書

1 目的

北部太平洋海区宮城県沖周辺海域操業を行う沖合底びき網漁業において、将来における安全性・居住性・経済性を備えた改革型漁船の適正規模と具体的検討を推進して、その実現に資することを目的とする。(別添 改革計画の基本コンセプト参照)

2 基本方針

- ①機関出力、漁撈機器（トロールウィンチ）能力、魚倉容積等、漁獲能力に影響を与える機器等については、従前と同等とする。
- ②安全性を最重点課題に置くことを目的とし、現在、甲板下に設置されている居住区画（船員室）は、全て上甲板上（船首楼）に設置する。なお、居住区画の居室高さはILOに準拠し、居住性の向上を図る。また、居住区の入出口は、安全性を考慮し改良する。
- ③船体の復原性向上を目的とし、現存船のスリップウェー両側の作業板子区画を閉鎖した船尾楼を設け、予備浮力を増加する。
- ④バドックフロー船型等の船型改良ならびに主機関動力利用装置の採用、大口径可変ピッチプロペラの導入等、当該漁船に有効な省エネ設備を導入する。
- ⑤漁獲物を初期冷却するための冷海水装置（10t/d）を新設する。
- ⑥衛生管理を目的とする海水殺菌装置を導入する。
- ⑦定員は9名とする。

3 船体要目

・ 漁船種類	沖合底びき網漁船
・ 計画総トン数	上記内容を満たすトン数
・ 計画航海速力	10ノット
・ 最大航海日数	9日
・ 主推進装置	735kW（現存船と同じ）
・ 軸発電機及び発電機関	必要な容量
・ 最大搭載人員	9名
・ 魚倉容積	68m ³ （現存船と同じ）
・ その他特記事項	建造造船所及び機器メーカーは、現在検討中。

【参考資料】

現存船の状況（当該地域）

・ 漁業種類	沖合底びき網漁業	
・ 総トン数	75トン	
・ 主機関馬力	735kw	
・ 航海速力	10ノット	
・ 最大搭載人員	9名	
・ 魚倉容積	68m ³	
・ トロールウィンチ	22Φ×2700m	9/7.5/5.3T×80/106/160m/min
・ センターウィンチ	20Φ×60m	6T×40m/min

石巻地域プロジェクト

『75t型沖合底びき網漁業』改革計画の基本コンセプト

<基本的な考え>

低コスト操業の実践、安全性や居住性の大幅な改善を重視した操業体制の確立、及び漁獲物の鮮度管理、品質管理の徹底による収益性の向上を実現させる次世代型の沖合底びき網漁船を導入する。

<生産に関する事項>

1、労働環境の改善・安全性の確保

75t型沖合底びき網漁船は水深1,000m以上の深海をも操業対象区域としている漁船である。操業上の安全性の確保は最も重要な課題であることから、船員の居住区を水線上（甲板上）に設置すると共に居住区出入口の改善等により船員の不安解消と安全性の向上を図る。近年、数度の海難事故の教訓から、船尾部分の改良による復原力の向上を図ることなども極めて重要な課題となっている。

2、省エネ

低コスト操業の実現に向け、省エネ船型、主機動力利用装置、大口径プロペラの導入及び最新型の漁撈機器の導入等による省エネを積極的に推進する。また、船内照明装置にLEDの採用も検討する。

3、高鮮度化などによる付加価値向上

収益性の向上に向け冷海水装置の導入による漁獲物の高鮮度保持を図ると共に包装・箱詰め形態の改良による漁獲物の高品質化を推進する。

4、資源保護

当該漁業にとって貴重な漁獲対象資源であるキチジについてその保護の為に稚・幼魚混獲時の漁場移動などの業界の自主規制に積極的に取り組んでいく。

<流通・販売等に関する事項>

- 1、漁獲物の品質管理の徹底を図る。
- 2、冷海水使用により高鮮度化を図り、当地域 75 t 型沖底業界では初となる活魚生産を試みる。また、現在のタラ・イカ・キチジ等の鮮魚箱詰め製品の増大化に加え、新規にカレイ類も実施する。
- 3、高級魚キチジについて 10K 箱詰めを 3K 小箱詰めとし、パウチの活用により乾燥を抑え、高鮮度化を図る。このような取組に対する評価を把握しながら対象魚種の増加も検討していく。
- 4、従来、当該漁船漁業は加工用原魚の供給を主体としてきたが、当プロジェクトの実践により今後は、生鮮・活魚向けの生産にも注力し、生産性・収益性の向上を実現する。すでに先行実施している近海・小型底びき網漁船による石巻地域プロジェクトと一体となった石巻の底魚のブランド化を推進し、当地域の「金華ブランド」への仲間入りをして需要拡大に寄与したい。